

キャラクター名	プレイヤー名
藍川 悠(アイカワ ハルカ)	

シンドローム	キュマイラ ハヌマーン	ワークス	FHイージェントC	カヴァー	高校生
オプション		年齢	16歳→17歳→18歳	性別	男性
覚醒	死	衝動	解放	初期侵食率	36%
出自	安定した家庭	経験	平凡	邂逅	居場所

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	32
肉体	4		1			5	行動値	4
感覚	1		0			1	(非装備時)	4
精神	1	1	0			2	戦闘移動	9
社会	2		0			2	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC	1		交渉		
回避	4		知覚			意志	4		調達	1	
運転:			芸術:			知識:	2		情報: FH[ダイス]+1個	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
破壊の爪	白兵	5r+4	1	[SL]+8		6の詳細データ。爪というか牙。敵をも捕食する鯨のそれ。
水虎ノ戯し	白兵	10r+4	1	9		80↓、1+3 5+6が前提。C値8、ドッジD-1個。侵蝕値+4。
水虎ノ飛翔	白兵	10r+4	1	9		80↓、1+3+8 5+6が前提。全力移動+白兵攻撃。C値8、ドッジD-1個。侵蝕値+4。
終極・深淵ノ咆哮(アビズマル・ロアリング)	白兵	5r+4	1	[SL]+20+ [SL]+8		80↑、1+2+3 5+6が前提。C値- [SL]、ドッジD- [SL] 個。侵蝕値+6。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲: 0    合計回避: 0

所持品	
コネ: 噂好きの友人	
応急手当キット	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
女の子	P 庇護	N 不安		
暁 近護	P 尊敬	N 離別		
砂沼 廣 “パース・ワン”	P 感服	N 隔意		
篝 結	P 連帯感	N 不安		
カレー姉さん	P 尊敬	N 隔意		
リリー	P 友情	N 不安		
黒い服の女	P 誠意	N 食傷		

最大財産P: 6    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト(キュマイラ)	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	判定C値- [SL]							
神獣撃	3	2	メジャー	武器	単体	〈白兵〉	80↑	
効果:	攻撃力+ [SL+2] D。使用毎に完全獣化が解ける。							
獣の殺意	1	2	メジャー	武器	-	〈白兵〉	-	
効果:	ドッジ判定ダイス- [SL] 個							
鋼の肉体	3	2	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	暴走以外のバステ全回復、HPを [SL] D+【肉体】点回復							
完全獣化	3	6	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	シーン中、【肉体】のあらゆる判定ダイス+[SL+2] 個							
破壊の爪	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	シーン中、素手のデータ変更							
イージスの盾	3	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	ガード値+ [SL] D							
一閃	1	2	メジャー	武器	-	〈白兵〉	-	
効果:	全力移動+白兵攻撃							
海の恩恵	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	すいすい泳ぐ。							
蝙蝠の耳	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	鯨の聴覚。超音波で些細な振動も感知する。							
至上の毛並み	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	すっごいツルツル、ツヤツヤ。							
効果:								
効果:								
効果:								

1年前までは何も知らない普通の中학생だった少年。家庭環境も友人関係も華やかでこそないものの、そこそこ満ち足りた生活をしてきた。幼い頃から海で泳ぐことが好きで、愛犬ユウと共に郊外の海辺に出かけては一緒に遊ぶのが日課だった。そんな毎日が一転してしまったのは1年前のある日、いつもの海辺のいつもの岩場から飛び込んだ際に誤って波にのまれてしまった日のことである。悠が憶えているのは肺に水が入る苦しさや体が沈んでいく感覚と、ユウが必死に吠えていたことだけ。ふと目覚めたときには海岸から随分離れた場所を、明らかにヒトではない体で悠然と泳いでいた。その後は再び意識を失い、次に目を覚ました時には病院に担ぎ込まれていた。入院中は海中での体験を意識が混濁した際の幻覚だろうと考えていたが、自由自在に水中を駆け回った爽快感だけはずっと体に残っていた。その日、世間では東京湾近海にシャチが出没したという報道がされた。

退院してすぐ、先の報道と関連して岩場に打ち上げられたシャチを見たというロコミを辿ってUGN袖多木支部から接触を受ける。その際に初めて、自身がオーヴァードとして覚醒したことや例のシャチが自分であったことを理解した。そのまま袖多木支部に所属し、訓練の結果空中でも水中と同じように変化する術やシャチの体躯を活かした戦闘技術を会得した。暁や東雲のような頼れる先輩たちにも出会い充実した日々を送っているが、どこか空虚さや違和感も感じている。悠が本当にやりたいのは、もう一度あの姿で思う存分泳ぐことだ。だが、不用意に能力を使用することはUGNが謳う「秩序」の為に許されない。その一方で、今まで存在も知らなかった対立組織の人間を喰いちぎるための牙は許されている。戦闘が嫌だとか、指示されるまま敵を排除するのが嫌だとか、そんななんじゃないけど……本当は、曖昧な「秩序」や「平和」のための戦いよりもまたあの海を泳ぎたい。それが、誰にも言えない悠の本音である。

また、以前はあれほど懐いていたユウが牙をむいて威嚇し、一切近寄って来なくなることから、自分が今まで通りの存在ではなくなってしまったことを痛感している。死をきっかけに覚醒する事例は多々あることや動物は人間より自然界の矛盾に遙かに敏感であることから、恐らく自分はその日溺死した状態から再生し、ユウにとって生死という絶対の法を侵すバケモノになってしまったのだらうと推測している。

以上のことから基本的には愛想も悪くなく、任務も真面目に遂行する好青年(少年?)だが、胸に秘めた願望は徐々に欲望へと変わりつつある。またユウから拒絶されていることもあって、UGNであろうがFHであろうがオーヴァードは自然の理を外れてしまったバケモノであるという悲観的な認識が根底にある(これが表面化・過激化すると衝動時のような思考に至る)。

なお、覚醒した経緯から能力の使用には疑似的に海で溺れた状況を再現する必要がある。特に完全獣化ではどんなに小さな段差でも良いので、「飛び降りる」という行為が変化のトリガーとなる。